

令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	文化スポーツ部
日 時	令和7年(2025年)4月17日(木) 15:10~16:05
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、東副知事、岸本副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 部長、国スポ・障スポ大会局長、次長、国スポ・障スポ大会局管理監、文化芸術振興課長、県立美術館副館長、美の魅力発信推進室長、文化財保護課長、文化財活用推進・新文化館開設準備室長、彦根城世界遺産登録推進室長、スポーツ課長、交流推進室長、国スポ・障スポ大会局総務企画室長、広報・県民運動室長、競技運営室長、施設調整室長、競技力向上対策室長

発言者	発言概要
岸本副知事	安土城の令和の大調査については、若手も含めて全員が携われるようにしてほしい。
文化財保護課長	全員が携われるように考えたい。
岸本副知事	安土山図屏風の搜索状況はどうか。
文化財保護課長	新しい情報はないが、研究者の方にも調査いただくほか、意見交換をしている。屏風だけを目指して探しに行ってもいい情報が入ってこない。昔の学者が書いたスケッチなどが文献に残っており、こうしたものも踏まえ、範囲を広げて搜索する。万博の国際交流プログラムも活用し、パチカンとの交流も深めたい。担当者は来日されており、安土を訪問したいとの意向も受けている。
岸本副知事	美術館のナイトミュージアムについてもよろしくお願いしたい。
美術館副館長	経済界との連携をより意識し、ビジネスパーソンと美術館との結びつきを図りたい。
知事	社会的処方福祉分野との連携をしてほしい。高齢者福祉や子供の居場所作りとも連携できる。
美術館副館長	すでに高齢者福祉施設や子どもの居場所作りをしているNPOとも連携をしているところ。今年度はつなぎ手になる団体とプログラムの開発に力を入れたい。リンクワーカー的な役割を果たしている団体が県内にあり、声をかけて一緒にやろうと言いつけているところ。
東副知事	美術館だけではなく、スポーツなどの広がりもあると思う。いいモデルができれば広げてもらいたい。
岸本副知事	部活動主事にいい人材を獲得することができた。国スポに県内選手として参加される方のセカンドキャリアとして活用できないか。
スポーツ課長	地域指導者は中学生を教える方であり、トップレベルの選手に見合うか。コーディネーター役を設置したいと考えており、方針を立てながら指導に関わってもらう形は考えられる。
競技力向上対策室長	セカンドキャリアの聴き取りを進めており、教員志望の選手もいる。特別指導員は地域の指導者よりも少し上のレベルの指導者であるが、競技団体として育成強化のノウハウが整いつつある中、より上を目指したい子どもを県域で集め、部活動の上のレベルで育成する役割を県域の競技団体が担うことは可能であると思う。単独の地域、学校ではこうした役割は難しいが、特別指導員のセカンドキャリアの場として期待し、つないでいきたい。
知事	うまくいく地域や種目を絞るのもいいかもしれない。レガシーとしてセカンドキャリアと結びつけて進めてほしい。
総合企画部長	びわ湖ホール休館中のアウトリーチ活動として、北部での展開は予定されているか。
文化芸術振興課長	文化産業交流会館があり、休館中に限らず拠点として声楽アンサンブルが活動しているが、高島は意識したい。休館のニュースを市町のホールがインパクトをもって受け止められており、休館中の連携の申し出を受けたり、逆にこれ以上の受け入れ難しいとの声があったり反応はさまざま。

総合企画部長	アールブリュットについて、作品をネクタイのデザインに取り入れて販売されている企業がある。作家の紹介やブランド力、デザイン力の向上につながるという。自分の能力で収入を得られる生活ができる仕組みへの投資となる。海外では付加価値のある製品が選ばれる。文化芸術と福祉、産業のはざまに落ちている。もっと作品の価値が評価されてもいい。
美術館副館長	間接的ではあるが美術館では県内作家を積極的に紹介することで作家を広く知っていただき経済的な循環にもつながるようにしていきたい。
知事	そういう意味でもアートの力は大きい。経済的、ビジネス的にも引き上げる視点はもっとあっていい。
知事公室長	国スポ・障スポ大会の認知度100%を目指すとするが、認知度だけでいいのか。支える人は熱い思いを持っているが、無関心層もいる。
広報・県民運動室長	認知度は最初の一步であり、参画につなげたい。思い出に残る関わりとなるよう、支えることに参加する楽しさを感じていただき、関わる方を増やしたい。
知事	レガシーは大きなテーマであり、国スポ・障スポ大会局だけではなく、みんなで考える必要がある。今年度考えるとのことであるが、それでは遅いのではないか。
部長	大会準備を進めながら、レガシーを考えてまいる。
国スポ・障スポ大会局長	大会で培われたものがある。8年度以降にどうつなげるか精査し、しっかり議論したい。
知事	国スポ・障スポ大会直前の課題はなにか。
国スポ・障スポ大会局長	認知度がまだ6割であり、盛り上げていく必要がある。
知事	盛り上がりは何をもって評価するのか。
国スポ・障スポ大会局長	国スポ・障スポ大会は選ばれた人しか出場できないが、デモンストレーションスポーツは一般の方も参加できる。先日参加した際には皆さん笑顔で楽しそうに参加されていた。デモンストレーションスポーツに多くの方が参加することがバロメーターであると思う。
知事	ウォーキングは文化財を絡めるとレガシーになるのではないか。面白く楽しく、今あるものを含めてレガシーに位置付ければよい。
東副知事	イベント終了後は三々五々に解散していたので、こうした場を活用して国スポ・障スポ大会をPRされたい。
国スポ・障スポ大会局長	会場に留まっていただけの仕掛けを用意して、PRしたい。
東副知事	今大会に向けて整備した施設の機能を維持できるように、民間活力の導入や収入確保の取組を検討いただきたい。
知事	文化スポーツによる喜びや楽しさが生まれるように、努めて楽しそうに仕事をしてほしい。文化スポーツを観光や健康、福祉と絡めて語ってほしい。地域には文化財や宝がたくさんある。地域の文化財に光を当て、滋賀県をよりよくしていく。特に過疎地域や北部に重点的に光を当てて、彦根城や安土城に絡めて北の城や寺をPRできるとよい。 国スポ・障スポ大会の開会式が重要であることは同感である。選手ファーストで進めてほしい。万博は期間の後半になるほど注目される。大会のPRが重要になる。